

特定非営利活動法人 つくば日中協会 会報 創刊号 (2021 年 4 月)

発行者：特定非営利活動法人つくば日中協会
事務局：つくば市松代 1-15-44
e-mail : tjca@tsukubajca.com
HP: <https://www.tsukubajca.com/>



名誉会長挨拶

つくば市長 五十嵐 立青



NPO 法人つくば日中協会会報の創刊にあたり、御挨拶を申し上げます。

「NPO 法人つくば日中協会」におかれましては、前身である「つくば日中協会」が 1993 年に設立されて以来、中国語講座や日本料理講習会など、草の根活動を通してつくば市と中国との友好のために多大な御貢献をいただけてきました。つくば市には約 140 か国・1 万人の外国人市民がいらっしゃいますが、そのうち約 30%が中国の方で最も多いことから、つくば日中協会の存在意義は非常に大きいと考えております。会員の皆様の長年の御尽力に、改めて感謝申し上げます。

つくば市は国連の掲げる「SDGs (持続可能な開発目標)」という世界共通のものさしを市政の柱に据え、日本の自治体として初めて「持続可能都市ヴィジョン」を示しました。行政、民間、市民など多くの関係者間でパートナーシップによる連携・協力を促進して、まちづくりを進めています。今後も皆様と連携し、多文化共生の推進や国際交流の拠点づくりに取り組んでまいりますので、引き続きお力添えをいただけますよう、お願い申し上げます。最後になりましたが、NPO 法人つくば日中協会のより一層の御活躍を期待するとともに、会員の皆様の御健勝をお祈りして、御挨拶いたします。

理事長挨拶

唐 莉莉



つくば日中協会会報は、1994年に会報第1号を発行以来、協会便りを含めて大凡20回ほど発行できました。つくば日中協会は、1993年に設立し、民間任意団体として長年にわたり、日中交流活動を続けて参りました。しかしながら昨今の国際環境の変化により、新たな日中友好交流のニーズに答えるため、研究学園都市つくばを拠点としているつくば日中協会の法人化について検討して参りました。2019年秋にNPO法人化チームを立ち上げ、コロナウイルス感染拡大が収まらない中、2020年5月22日に「NPO 法人つくば日中協会」を設立することができました。当協会名誉会長であるつくば市五十嵐立青市長をはじめ、つくば市国際交流協会と市国際交流室等より多大なご支援をいただき、心よりお礼を申し上げますとともに、これからも益々のご支援ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

日々変化する国際環境と科学進歩により人類はAI時代へ邁進しています。この新しい時代におけるグローバル情勢の中、研究学園都市つくば市の発展と国際交流を考え、当協会の活動により、日本と中国の交流が益々促進され、日中両国の友人の間の友情だけではなく、相互理解と交流のためのパイプがより太く発展する事を心よりご希望致します。NPO 法人つくば日中協会が市民レベルでの日中友好協力関係の発展にこれまで以上に貢献できる事をお願い、また日中両国民間の友情の増進と科学技術的な交流と協力ができるように、着実な努力を続けておられる皆様がNPO 法人つくば日中協会の活動に積極的にご参加とご協力下さるようよろしくお願い申し上げます。

筑波大学中国留学生学友会 会長ご挨拶

彭 齊家 学生会員

NP0 法人つくば日中協会会報の創刊に当たり、筑波大学中国留学生学友会を代表いたしまして謹んでお祝いを申し上げます。

つくば日中協会は長年日中友好に力を注がれ、特に筑波大学中国留学生学友会と様々な交流活動を共催されました。これらの活動を通して、私たち中国人留学生は大学で学べられない知識を学んで、日本の社会や文化に対する理解を深め、日本人の方々の優しさと日中友好に対する情熱も感じることができました。この場をお借りして深く感謝を申し上げます。

昨年、コロナウイルスの影響で、多くのイベントは中止になってしまい、かなり寂しい一年でした。NP0 法人日中協会会報の創刊により、つくば市の日中交流は新たなステップに邁進することを願っております。微力でありながら、筑波大学の留学生たちも日中協会と一緒に力を尽くしたいと存じます。今後ともよろしくお願いいたします。

成都市郫都区の日本語クラスからのメッセージ

劉 成棟

郫都区は四川省成都市の一つの町です。以前は郫県（ピーシェン）という地名でしたが、2016年に成都市に加わって現在の郫都区となりました。成都市中心地から北西の方向に位置しています。そこには、Intel や BOE、日本の住友などの有名企業がたくさんあり、中国でも有数のハイテク産業の町になっています。郫都区は、日本でも人気がある三国志の舞台である「蜀」の一部分で、古い蜀の首都として長い歴史を持っています。今でも、昔の蜀王の墓が観光地として知られています。また、日本でも食べられている四川豆板醤の中でも、郫都区で製造した「郫県豆板醤」は特に有名で、世界各国に輸出されています。



日中友好関係が深まる中で、2018年に地元の郫都区政府は郫都日本語クラスを成立しました。私たちは、その日本語クラスで日本語を勉強したり、日本料理や日本文化を学んだりしていました。そして、日本の友人のおかげでつくば市との交流がはじまり、2019年9月にはつくば日中協会の皆さんが郫都区を訪問し、私たち郫都日本語クラスのメンバーは二日間にわたる日中交流活動を楽しむことができました。

日本は中国の近くにある国ですので、私たち中国人にとって、経済的にも文化的にも日本の皆さんとの交流が大切だと思っています。郫都日本語クラスのメンバーとして、私たちも両国の友好関係に貢献したいと思っています。

上の写真は、2019年9月につくば日中協会の皆さんと一緒に撮影したものです。後ろに映っているのは、日本では公民館と呼んでいる建物で「創智e站」（チャンズイージャン）という名前の施設です。ここで日本語クラスが行われています。また、「創智e站」の中には、つくば日中協会の郫都デスクが設置されていますので、日本との情報交換・交流活動の拠点としても使われています。

つくば日中協会第 28 回総会 NPO 法人つくば日中協会第 1 回総会

2020 年 6 月 14 日、小野川交流センターにおいて、第 24 回中国語講座開講式続いて第 28 回つくば日中協会総会及び第 1 回特定非営利活動法人つくば日中協会総会が行われました。両会には、会員・来賓含め 27 名が出席し、これまでの活動報告等のほかに、NPO 法人への事業と会員及び事業と会員及び財産譲渡等が満場一致で採択されました。

ここにおいて任意団体としてのつくば日中協会はこれまでの 27 年余の歴史に幕を閉じ、新生特定非営利特定法人つくば日中協会が誕生しました。

当日は、中国留学生講師として開講当初より当講座に携わってきた唐莉莉会長が挨拶の中で、これまで築いてきた中国語講座の 24 年について触れたあと、第 1 回講座 24 名の受講者の 1 人でもある飯田事務局長をはじめとした各コース代表者が挨拶しました。続いて、今年度講師には、張黎明(初級)、姜子諾(基礎)、封雨舟(文化)、劉晨(代講)の新人 2 名を含む、計 4 名の中国留学生会員が担当される旨紹介され、各氏から今後の抱負がありました。

その後、唐会長によるオリエンテーションのあと、各コースの受講者と各講師による交流が行われ、今後の方針等について議論しました。



(村山えりか室長)

総会は、以下の通りです。第 24 回中国語講座開講式後に行われた第 28 回つくば日中協会の総会では、飯田事務局長の司会より、開会言葉で開始し、会長挨拶に続き、来賓のつくば市市民生活部国際交流室村山えりか室長、筑波大学中国留学生学友会彭齊家会長のご挨拶がありました。

杜明遠幹事長による前年度活動報告では、特に中国四川省成都郫都区での交流事業、特定非営利特定法人への組織替えが提案されました。



(彭齊家会長)

敵康敏幹事による前年度決算報告と前年度監査報告に続き、多年にわたり協会へ貢献した会員へ感謝状授与が行われ、不破正宏初代会長、不破睦子元事務局長をはじめ、王学論・飯田茂・川村路子・敵康敏・杜明遠幹事、講師として貢献してきた、関玲筑波大学学友会前会長、張博輝、張黎明、李昂の各氏が対象となりました。また一般会員からは、積極的に参加協力してきた鈴木茂昭、留学生たちの親代わりとしてお世話をしてきた盛光稔はじめ、吉原世良子、川村杉生、川崎靖夫の各氏が授与されました。

そのあと、唐会長より NPO 法人設立に至った経緯について説明があり、つくば日中協会より特定非営利特定法人への事業・会員・財産譲渡議案の承認を諮ったところ、満場一致で採択されました。

ここに任意団体としてのつくば日中協会は 27 年余の歴史に幕を閉じ、特定非営利活動法人つくば日中協会として、新たな一歩を踏み出したことになります。



特定非営利活動法人つくば日中協会は、唐会長が初代理事長に就任し、理事長より理事会の役員が紹介されました。理事会の構成は、以下の通りです。

名誉会長として五十嵐立青つくば市長(依頼中)、朝倉栄子顧問、真木太一顧問、理事会の構成員として、唐莉莉理事長、青木克裕副理事長、杜明遠常務理事、由布宗郷事務局長(行政書士)、川村路子事務次長、巖康敏理事(会計・講座管理担当)、芝田圭子理事(宣伝・文書担当)の七名、監査役として飯田茂監事、曾継業監事の2名が就任するということが決議されました。

続いて、青木副理事長より今年度事業計画、巖理事より予算案が提案され、採決の結果原案通り承認されました。その後、理事長の総括があり、由布事務局長より事務局連絡とともに今後の運営方法が示され、正午過ぎに閉会となりました。

当協会は、1993年に創立してから、30年近くの長きにわたり当協会が活動を続けて来られたのも、中国人留学生たちを我が子のように慈み、親身になって世話してきた不破初代会長、睦子夫人を筆頭に歴代役員たちの献身的な支えがあったからであり、また協会の趣旨に賛同し協力してくれた会員たちの尽力があったからです。ここに、改めて全ての関係者に敬意と感謝の意を表すものです。

特定非営利活動法人となっても、その精神を受け継ぎ、国際都市つくばの地で日中における市民の草の根の交流を継続・発展させながら、さらなる展望を見据え、日中の利害を超えて多くの市民のために、一層の努力を続けていく覚悟です。最後に、これからも皆様、どうぞ変わらぬご支持ご支援をよろしくお願い致します。

NPO 法人 役員紹介

理事長 唐 莉莉

まず、自己紹介をさせていただきます。国費留学生として筑波大学に留学して以来30年以上日本で住んでいます。留学当時につくば日中協会初代不破会長の誘いに協会月例会で講演したのが協会との最初の関わりでした。その後中国語講座の開講など色々な形で協会支援をしてまいりました。複雑な国際情勢の中でも、将来にわたりより良い日中関係が継続できるように、そして NPO 法人つくば日中協会が日中友好交流にも貢献できるよう尽力したいと思います。

副理事長 青木 克裕

成都市で仕事の傍ら日本文化紹介のボランティア講師をしていたときに、ビデオ交流会を通してつくば市・つくば日中協会と成都市の友好交流を計画しました。これがキッカケとなり、2019年につくば日中協会会員が国際交流で成都市を訪問しました。NPO 法人となった本協会の新規企画、活動拡大や成都市とのより良い友好関係作りに尽力していただきたいと思います。また、成都市郫都区の外籍顧問でもあります。

常務理事 杜 明遠

日本在住30年以上の農業環境の専門家です。仕事の傍ら自然農法によって野菜の栽培を趣味として楽しんでいます。つくば日中協会の活動は29年目で、いろいろなことを経験しています。行事の計画や準備など、なんでも対応できるスーパーマンです。年に数回は仕事で中国を訪問していましたが、今はコロナ禍で渡航できずにいますが、これからも幅広く活動に尽力いただきたいと思います。

理事(事務局長) 由布 宗郷

国を守るお仕事をしていて現在は行政書士をしています。つくば日中協会の NPO 法人設立には各関係機関との打ち合わせ、定款策定、登記手続きなど、複雑な業務を上手に進めてもらいました。法人の事務的な業務全般を担当していただき、法人活動の“要”として活躍していただきたいと思います。

理事（事務次長） 川村 路子

自然に関することや、料理に関することなどに大変興味を持っている人です。中国語講座の担当をしています。毎年実施している日本料理講習会、中華料理講習会の計画や実施も川村さんが進めています。中国各地に何度も訪問し、たいへんな中国通でもあります。これからも幅広く、当協会の活動に協力いただきたく思います。

理事（経理） 巖 康敏

電子顕微鏡検測のエキスパートです。つくば在住30年以上で、任意団体だったつくば日中協会時代から協会の活動に参画しています。活動の楽しい事や難しい出来事などいろいろを乗り越えてきました。法人の中ではたいへん重要な経理の業務と中国語講座講師の管理をお願いしています。今後新しい講座が増えますので、これからも尽力いただきたいと思います。

理事 芝田 圭子

情報係とフェイスブック等の宣伝・文書管理などを担当しています。地元通なので他の活動団体や自治体から発信される情報にも大変豊富です。2019年の成都市訪問の際には、手持ちの和服で交流会に参加し、成都市の人たちに大歓迎されました。これからも新鮮な情報収集をお願いします。

監事 飯 田 茂

つくば日中協会が主催する中国語講座の第1期受講生です。そして協会の役員として24年間活動しています。飯田さんは協会の歴史そのものと言っていいと思います。成都市でも交流会にも参加し、ますます交流の幅を広げることに努力をしています。法人の中では、お目付け役として監査をお願いしています。

監事 曾 継業

カナダから日本にいられた海洋環境の専門家です。無農薬野菜栽培が趣味で、仕事の傍ら自然農法によって野菜の栽培を趣味として楽しんでいます。日本の古民家にもたいへん興味を持っています。法人の中では、監査の仕事をお願いしています。

中国語講座の紹介

日中協会の重要な地域奉仕活動として、つくば市教育委員会後援の下で、2021年度第25回の中国語講座を開いています。筑波大学中国人留学生を講師に迎え、初めて中国語を学びたい方から、より深く中国語を学びたい方を対象に入門から文化まで毎年いくつかコース別に講座を開いています。

ただ中国語を学ぶだけでなく、授業を通して中国の歴史、文化を学び、中国人との交流を深めることが出来ます。皆さんも奮ってご参加下さい。

2021年度中国語講座のコース紹介

入門コース：中国語をはじめて学ぶ方の為に設定したコースです。ピンイン(発音)の練習を充実し、簡単な日常会話も沢山練習します、さらにその会話を広く応用して、自分の語学学習の足跡を確かめながら一步一步前へ進むことができます。

初級コース：中国語を2～3年学んで、ある程度基礎がある方に設定したコースです。自然の会話、文型、表現形式を身につけ、一年間勉強を続けると聴く力、話す力が高められます。

基礎コース：中国語を4～5年学んで、基礎がある方に設定したコースです。会話、文法など練習を重ねながら、聴く、話す、読む、書く、思考技能を養います。一年間勉強を続けると中国語検定試験(HSK)の3級また4級へ挑戦することができます。

中国語講座を受講して

中山 由美 会員

中国語講座を受講しようとしたきっかけは、長男家族が中国赴任したことです。中国本土のイメージがわからず、観光ブックを手に取りましたが、一冊もの（分厚いですが）の観光ブックしか見つけることができませんでした。「中国についてもっと知りたい。」と思うようになり、つくば日中協会の中国語講座を受けることにしました。講師の方は、筑波大学の院生で、日本のことをよく勉強していました。受講生は、家族の海外赴任先が中国だったり、教え子に中国人がいたり、中国に興味があったりと動機も年齢も様々です。中国文化や行事などを交えて、中国語を教わりとても楽しく通うことができました。

令和2年においては、新型コロナウイルスの影響で、会場が閉鎖になり、授業がストップしそうになりましたが、リモート授業で、仲間意識を維持しながら受講することが出来ました。また、日中協会の皆さまの「加油！（頑張ろう！）」のお声かけや、筑波大学の留学生の皆さまとの交流活動を通して、楽しさの中にも和を重んじた受講生活を送ることが出来ました。皆さまありがとうございました。

中国語講師としての感想

初級コース講師 張 黎明 先生

首先我感到非常荣幸在留学期间能够作为一名中文教师在筑波日中协会工作，并且连续两年被评为优秀教师，这对我来说是很大的鼓励。同时也非常感谢协会给我这样一个机会。

2019年4月我开始担任中文讲座入门班的课程。当时协会介绍说近期入门班的学员人少了，希望我能够带好这一期的学生，这让我感到了压力，但同时也多了一些动力。凭着我在国内时积累的对外汉语教学的经验，入门课程很快就得到了学生们的认可和喜爱，教学活动很顺利地得以进行。学生们都表现出了很大的学习热情，通过一年的学习从a、o、e到可以简单对话，最后在协会的忘年会上，学生们还共同合唱了一首中文歌曲《新年好》。



让我感到开心和骄傲的是入门班学生第二年几乎是全员升入初级班，继续学习，这也给了我更多的鼓励，让我想要更加努力地工作，让学生们更好地了解中国的语言和文化。相比第一年的入门课的学习，第二年学生们更加自信，更加积极活跃了，课堂上都努力用中文表达，口

語和听力也有了很大的提高。虽然 2020 年因为疫情，大家的工作和生活都受到了很大影响，但是学生们学习中文的热情却丝毫没受影响。疫情期间，我们初级班最先开展了线上上课，课程进度几乎没受影响，所以结课时我们按计划完成了初级课程的学习。

通过两年的学习，学生们的中文水平有了很大的提高，重要的是他们对中国有了一定程度的了解，也多了更多关心和关注。我觉得这正是以促进中日两国友好交流为宗旨的筑波日中协会的价值和功能所在，能够在这样一项十分有意义的事业中做出自己一点小小的贡献，我感到十分光荣和自豪。

料理講習会

中国料理講習会の報告

川村 路子 理事

日中協会では、日本料理講習会、中国料理講習会を通して日本人と中国人との交流を深めています。中国料理講習会では筑波大学中国人留学生に指導者になってもらい、日本人が参加します。留学生が提案した「中国人の家庭で普通に食べている」メニューを尊重して選び、私がそれぞれのメニューに合った材料を準備しました。今回は、蒜泥白肉（豚肉料理）、葱爆羊肉（ラム肉料理）、黄焖鸡（鶏モモ肉料理）、枣糕（棗ケーキ）、蒜茸香菇油菜（椎茸と青梗菜のニンニク炒め）、蕃茄鸡蛋汤（トマトと卵のスープ）などの 6 品目を作りました。指導してくれた留学生は全員男性でしたが、手際が良く、参加した日本人とも和気あいあいと、交流を深めながらの作業となりました。



あるテーブルでの出来事で、油で大量の唐辛子を炒めたときは、辛み成分が部屋中に拡散し全員が咳き込んでしまったこともありました。このようなハプニングがあったり、中国料理に不可欠な幾つかの調味料や香辛料まで思い至らず準備できなかったりもしました。ですが、完成した料理は

どこの店に出しても負けない程おいしいものでした。

日本人の参加者からは「どの料理も美味しく、思っていたより辛くなく、どこか懐かしい味がした」ととても高い評価でした。留学生からはこのようなイベントに参加出来てとても楽しかったとの意見をもらいました。このような活動を通して中国人との交流を深め、ささやかながら日中交流の架け橋になれば幸と思っています。



料理講習会の思い出と期待

盛光 稔 会員

中国語講座受講をきっかけに日中協会員となり、すでに 15 年経ちました。それ以降、筑波山登山や年忘れパーティ、そして中国料理会、日本料理会などの交流活動には欠かさず出席してきました。それらの活動を通して中国に対する関心が更に深まり、今では中国語の勉強と中国人との交流は、私にとって欠かすことの出来ない生活の一部となっています。



特に料理講習会では、日本へ来たばかりの留学生達と料理作りを楽しみながら、自分の中国語の実力を試したり、彼らの日本語会話練習の手助けをしたりします。言葉だけではなく、料理を通じて現代中国の家庭生活の様子や学校生活の様子を具体的に知ることが出来て、普段では滅多に体験できない有意義な異文化交流を楽しんでいます。

我が家では全く料理をしない私なのですが、なぜか料理講習会ではとても積極的に料理に加わり、テキパキと野菜を洗ったり切ったり、食器の準備から後片付けまで、ベテランのシェフのようにとても手

際良く動き回り、料理指導の「川村先生」のお役にたっているかもしれません。日本料理講習会では、毎回「太巻き寿司」が定番料理ですので、私も手順をすっかり覚えてしまい、時には留学生に太巻きの巻き方まで指導しています。妻には私のこの姿は到底想像出来ないと思います。

最初の頃、中国留学生と私との歳の差は親子ほどの感覚でしたが、今では自分の孫ほどの歳差になってしまいました。初めて参加した料理会で知り合い、今も交流が続いている当時留学生だった中国人は、すでに家庭を持ち、その子供達はもうすぐ中学生になる年齢となります。もしかして、近い将来に彼らの子供達が筑波大学へ留学生となって来て、この料理会へ参加する事もあり得るかもしれません。そんな事を夢に描きながら、私は次回の料理講習会を楽しみにしております。



2020 秋 NPO 法人つくば日中協会 筑波山登山の報告

秋雨の候、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、不安と不便な日々が続いている中、11月14日(土)恒例の筑波山登山を行いました。昨年度は台風の被害により中止となりましたが、今年度はお天気に恵まれ、十月桜と紅葉に中国人留学生たちも驚いていました。



今回は、NPO 法人となってから初めての登山です。新型コロナウイルスの感染防止の対策として、例年の山頂へ上るコース1をやめ、登山者が少なく、そして体力への負担も軽く、さらに森林浴を楽しめる筑波山山麓から筑波山神社までの登山コース2を選んで、初めて山頂まで行かない楽々コースでしたが、協会会員やコロナでオンライン授業の多かった学生にとって、楽しみながら運動不足の解消となったようです。



登山は予定通り、別途参照の行程で行われました。
8:30 スタート、筑波大学追越宿舎駐車場 9:20 市営神郡駐車場で撮影 11:20 筑波山神社で撮影、下山開始 11:40 筑波ふれあいの里で昼食（おにぎりなど） 13:50 市営神郡駐車場 14:30 筑波大学追越宿舎駐車場で解散しました。

<https://www.tsukubajca.com/>